

令和3年7月5日

お取引先様各位

一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会
理事長 菊川 美 仁



溶融亜鉛めっきの原料費等の高騰について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は溶融亜鉛めっきをご利用いただき、また、弊協会会員に対しまして格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

さて、弊協会会員は、溶融亜鉛めっき加工により「鉄を長期にわたり錆から守る」という社会的コストの低減の一端を担ってきたと同時に、溶融亜鉛めっきの需要家各位にご満足いただける製品を納め続けてきたと自負しております。また、弊業界会員は、溶融亜鉛めっきの品質向上に努めるとともに、経営の合理化を図り、地道な原価低減努力を日々続けております。

しかしながら、溶融亜鉛めっき生産量は2019年10月から前年同月割れが続き、2020年度は前年度比12.3%減の103万9千トにとどまり、1975年度に次ぐ低い水準となりました。

一方、2004年以降、亜鉛需給は世界需要の約半分を占める中国の台頭により大きくバランスを崩し、弊業界の主原料である亜鉛地金価格は、平均でも2倍以上に上昇しています。また、2020年4月からは、2016年1月～2018年前半と類似する上昇基調で推移しており、直近9ヶ月（2020年10月～2021年6月）の平均亜鉛地金価格は、過去5ヶ年（2012年～2016年）平均亜鉛地金価格の1.4倍という高い水準で推移しております。

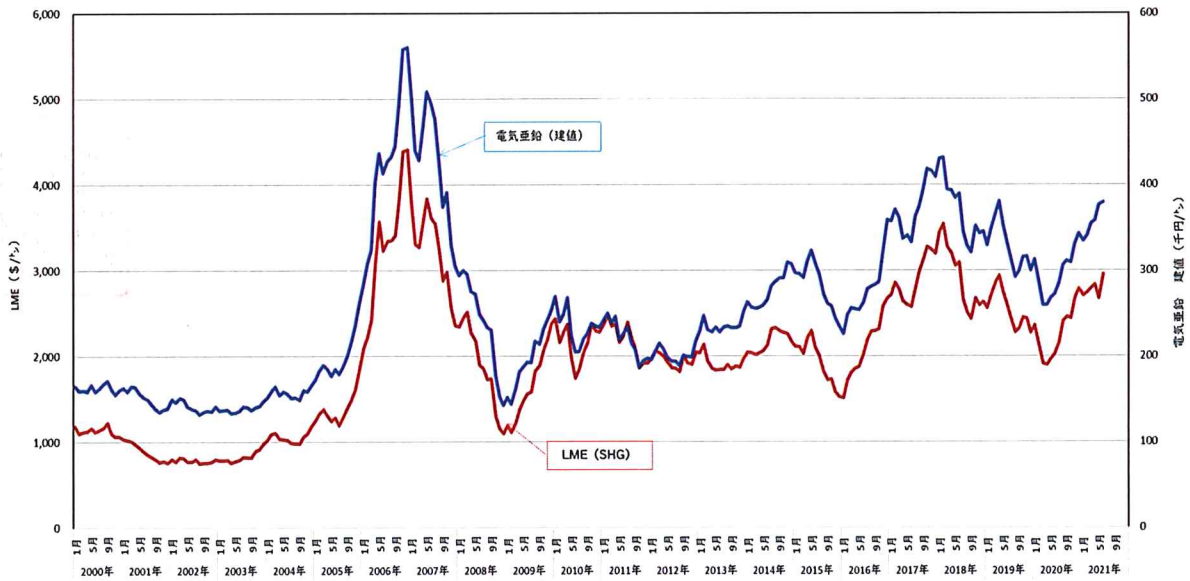
加えて、2020年4月からは原油価格も上昇に転じており、亜鉛地金の溶融などに必要な燃料費にも影響を及ぼしています。

これらは、弊業界会員各社の懸命な経営努力をもってしても如何ともし難い状況に達しております。

需要家各位におかれましては、弊業界のこの窮状を何卒ご賢察頂き、今後も継続して安定した溶融亜鉛めっき加工が維持できるよう、弊業界会員である御社取引企業が参上した際には、深いご理解を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

亜鉛価格の推移（2000年～2021年 月平均）

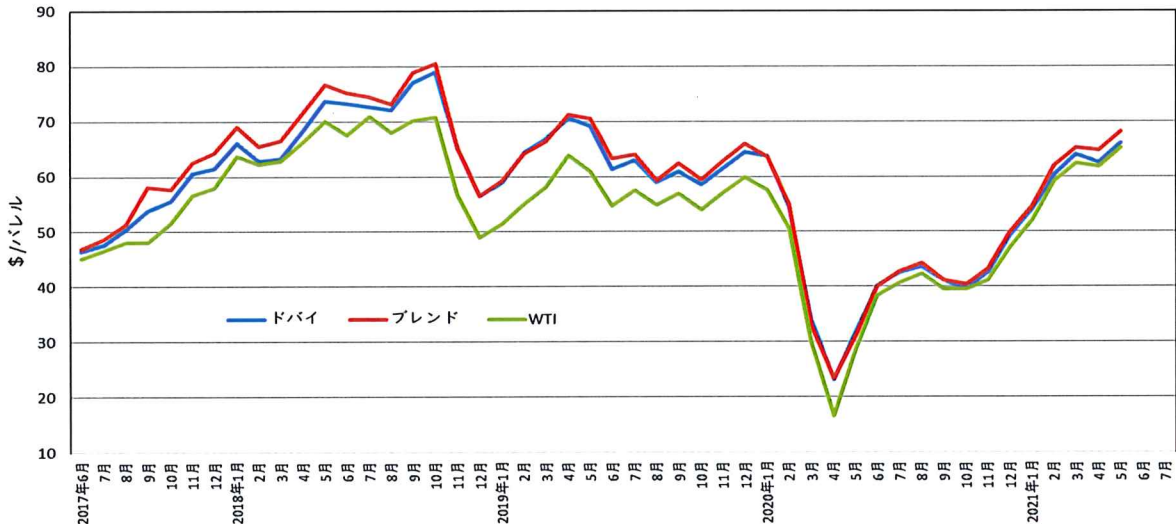


最近の亜鉛地金価格

期 間		日本 (千円/MT)	LME (※) (\$/MT)
5ヶ年平均	2000年～2004年 (A)	149.8	933.6
	2012年～2016年 (B)	254.1	2,008.7
B / A		1.70 倍	2.15 倍
直近9ヶ月平均	2016年12月～ 2017年8月 (C)	355.1	2,730.8
	2020年10月～ 2021年6月 (D)	347.1	2,731.5
C / B		1.40 倍	1.36 倍
D / B		1.37 倍	1.36 倍

(※) LME (London Metal Exchange) とは、世界最大規模の非鉄金属専門の取引所で、亜鉛を含む世界の非鉄金属価格をリードする機能を有する。

原油価格の推移



(※) ドバイは、UAE 産原油で主に中東産原油の価格指標、ブレンドは、北海産原油でアフリカや地中海原油などの価格指標、WTI は、米国産原油で南米産原油などの価格指標。